

国土交通省 第3回 ライフスタイルの多様化と関係人口に関する懇談会

地域と関係人口のつながりの創出 共有資料

2020年10月27日



1-1: 一緒に活動（交流）することを通じて、関係人口に地域での居場所を見つける取組

空き家をコミュニティスペースにするための仲間をSMOUTで募集のケース

（岡山県井原市の大舌さんの取り組み）

SMOUTで仲間募集



プロジェクトに43名が「興味あり」を



SMOUTきっかけで2組が参加



今回のイベントに参加できなかった人も中長期的にSMOUTでつながる

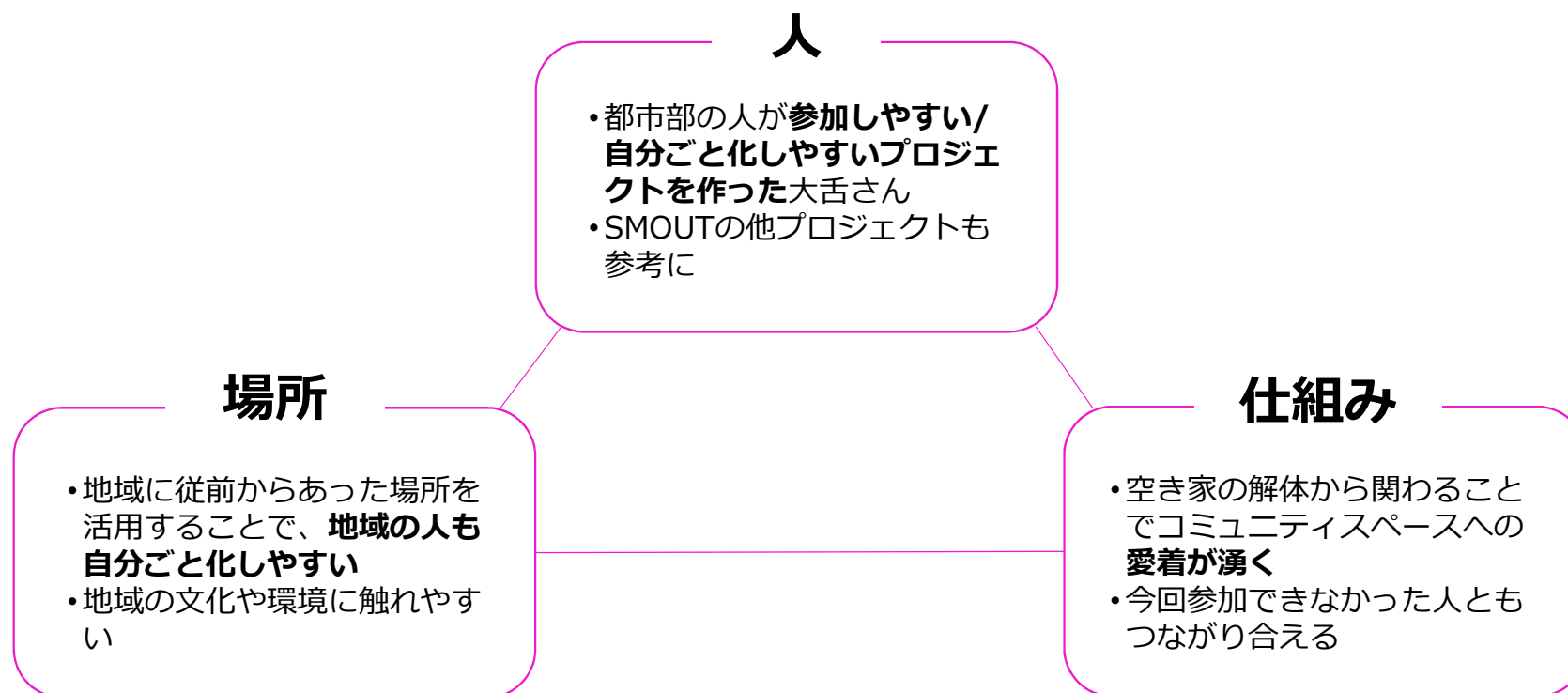
ネット関係人口へ

1-2: 一緒に活動（交流）することを通じて、関係人口に地域での居場所を見つけてもらう取組

空き家をコミュニティスペースにするための仲間をSMOUTで募集のケース

（岡山県井原市の大舌さんの取り組み）

地域と都市部の人互いに参加しやすく、愛着が湧くつながりの創出の仕組み



2-1: 地域における役割の受け皿をつくり、関係人口と連携・協働する取組

新しい生活様式へのチャレンジ：気仙沼でワーケーション実験！？

(気仙沼市移住・定住センター MINATO 千葉 可奈子さんの取り組み)



情報を集める

公開日：2020/10/01 終了日：2021/12/30

【情報収集】気仙沼でワーケーションしてみたよ！ワーケーション体験者の本音！



千葉 可奈子
気仙沼市移住・定住支援センター MINATO

withコロナで暮らし方と働き方のカスタマイズができるようになってきましたね！

なんだか国の方でもワーケーションを推進するとか…？

流れは来てる～とは言いつつ、ワーケーションってどんな感じのかな？

とお思いの方に！気仙沼でワーケーションのモニターをしてくださった方の声をお届けします◎

ぜひ、参考にしてワーケーションにチャレンジしてみてください～！

モニターの方の感想や、実施した側のMINATOの感想も随時更新予定です◎

ぜひ「興味ある」を押してみてくださいね！

新しい生活様式へのチャレンジ：気仙沼でワーケーション実験！？

(気仙沼市移住・定住センター MINATO 千葉 可奈子さんの取り組み)

一週間ワーケーションをお試し！

日曜日から土曜日までの1週間、4人が気仙沼でワーケーションを体験しました◎

<滞在場所>

気仙沼の離島（今は橋がかかっています）にある旅館と、半島にある民宿。

そして、市街のビジネスホテルに滞在されました。

今回お泊まりいただいたところは、いずれも海のすぐ近く！

仕事の息抜きに海の近くを散歩したり、朝早く起きて市場の水揚げを見学したり。

最高の立地条件です。

また、気仙沼の旅館は女将が最高！優しくて世話焼きな女将が気仙沼の楽しい方を教えてください。

気が付くと夜の予定が埋まっていて、その楽しみの為に仕事も捗るとか？！

<お仕事場所>

お仕事は、海の近くにある市街のシェアスペースを活用！

年間で1000円という格安の利用料でお使いいただけます。

エンジニアさんがご利用いただけるモニターもご用意しております。

と言いつつ、気仙沼の旅館はWi-Fiがバッチリ！1日旅館で作業された方もいらっしゃいます!(^^)!

<こんな声がありました>

- ・シェアスペースで仕事をしていて、ふと顔を上げると海が見えて、とても心が洗われました
- ・夜に予定を入れたので、それまでに仕事を終わらせようとして凄く仕事に集中できました
- ・部下にちょっと優しくなれました
- ・気分転換しやすいです。ちょっと海でも眺めに行こうかと思って10分休憩とかでいけるので
- ・旅館の方が協力してくれたので、楽しく暮らせました。あつという間
- ・魚を捌くことがエンタメ。東京では買えない魚がたくさんあって楽しかったです



気仙沼市の関係人口の方がワーケーション実験に参加

千葉さんが新しい関わりの機会を創出



気仙沼市
移住・定住センターMINATO
千葉さん

「震災10年目。みんなが帰ってこれる場所をつくりたい」

「この実験、関係人口のおふたりと実施したい」

関係人口



「ボランティアなどで関わっていたけれど、仕事が無いので移住には至らなかった。この実験ならば参加できる」

関係人口



会社仲間

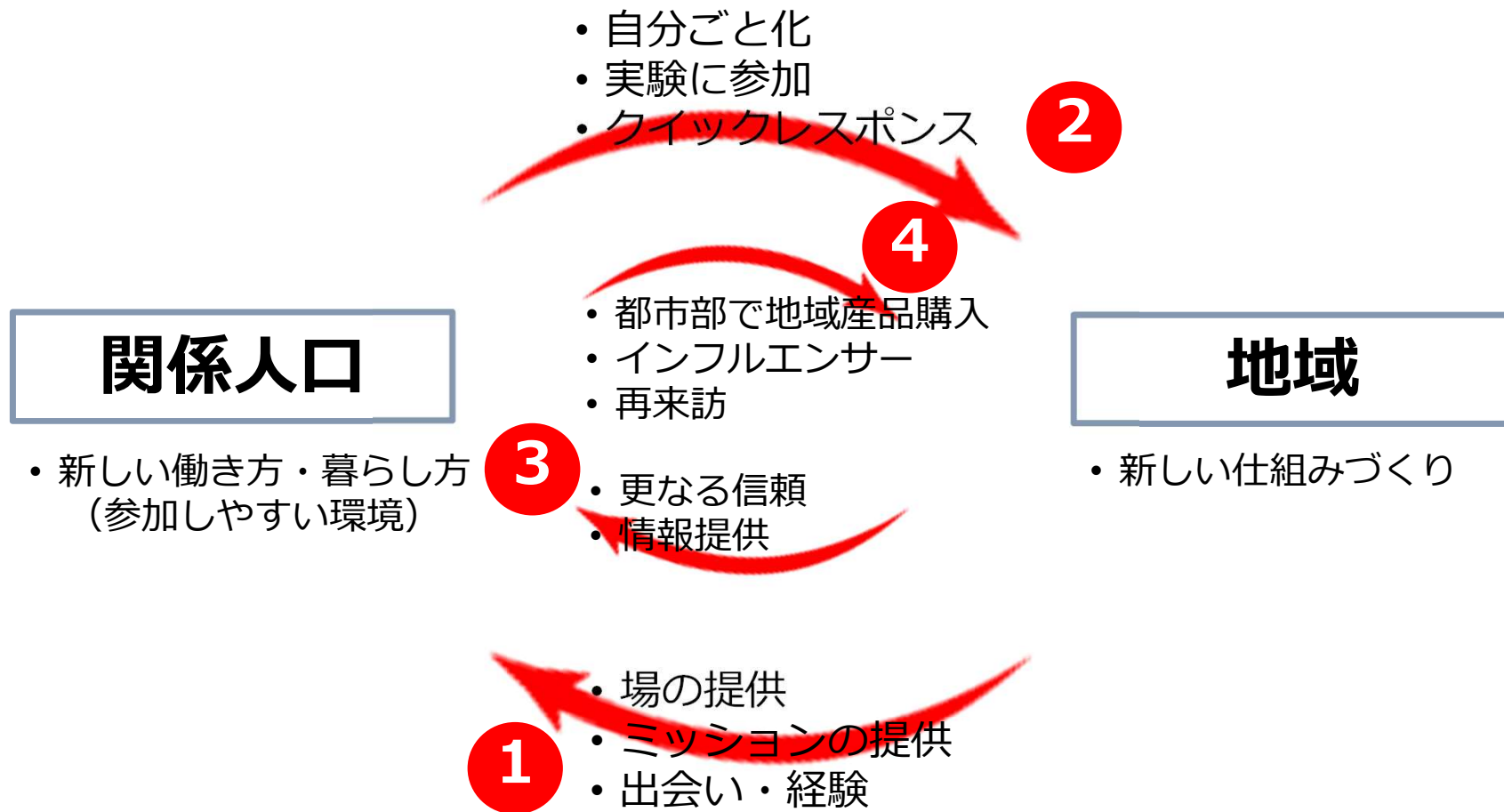
「会社の仲間にも実験に参加してもらおう」



「地域でワーケーション体験してみたかった」

これからの関係人口が活躍の場は『新しい生活様式』関連へ

テスター/モニターとして関係人口の活躍の場はこれからさらに増える



3-1: 偶発的な出会いを生み出す“場”としての取組

八女のつながるバス停

福岡県八女市×面白法人カヤックのケース



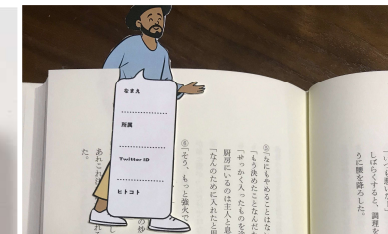
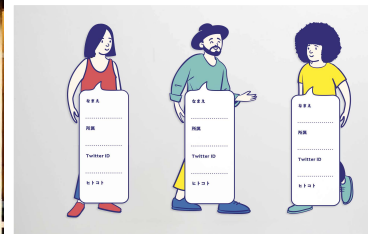
CONCEPT

地域のみなさんの日常に、
ふとした興味が学びのきっかけになり、
人と人がつながるきっかけになる、
そんな、小さな場所をつくりました。
小さいけれど、人がつないで大きな広がりになる。
ここは、みんなの想いが「本」を通して行き交う場所です。
例えば、「八女の街」が好きな人と人がつながる。
例えば、「川釣り」が好きな人と人がつながる。
例えば、「ジャズ」が好きな人と人がつながる。
みんなの思いが行き交い、つながれる場所。
ここはコミュニティがつくる、コミュニティのための本棚です。

3-2: 偶発的な出会いを生み出す“場”としての取組

八女のつながるバス停

バス停と本棚としおりが、人をつなぐ



多くの人々が毎日利用するバス停が、本棚を中心とした「つながれるコミュニティスペース」に。誰もが気軽に時間をつぶせて、誰もが気軽に交流するきっかけを創出する拠点となります。

「つながるしおり」が、人々の交流を加速するキーアイテム。人型のしおりは30種類以上の多様な人物像をデザインし、自分に似ているしおりを自由に選んで挟む。

3-3: 偶発的な出会いを生み出す“場”としての取組

八女のつながるバス停

つながりの仕組みが発信され、更なるつながりをつくる

STEP1 : 「つながるバス停」を拠点に、新たなつながりが創出される。



STEP2 : 「地域の顔」が増え、域外のつながりを創出。



まちのコイン

STEP3 : 「つながりの仕組み」自体が、メディアになり発信されていく。

つながる市役所
つながる長屋
つながる八百屋
つながる公園 ... etc



4-1: 関係案内人、中間支援組織の継続的な運営に関するケース

自立する地域の団体

鯖江市 NPO法人エル・コミュニティと代表 竹部美樹さんの取組

鯖江市地域活性化プランコンテスト

リーダー育成



学生団体 with

地域の担い手育成



Hana Open Innovation Dojo in SABAE

ITの担い手育成



今年で第13回目。これまで300名近い全国の学生が鯖江に集った



福井の学生などで構成される。プランコンテストの運営など、主体的に地域活動を行う



様々な世代が集まり、ものづくりを楽しむ

自立する地域の団体

共感した県内外の企業がスポンサーに。地域内外をつなぎ、関係人口が増えていく
金の切れ目が縁の切れ目にならない、継続的な関係人口をつくっている

